

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年5月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500224
法人名	医療法人 芳清会
事業所名	<u>グループホーム さくらの丘</u>
所在地	鹿児島県いちき串木野市生福8974番地 (電話) 0996-21-2777
自己評価作成日	平成28年3月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- (ユニット名 よっちゃん家 ・ れいちゃん家)
- ・母体病院からの24時間医療連携体制、毎日の看護師訪問による健康管理
 - ・母体病院からの管理栄養士による献立
 - ・感染症予防のため、1日3回の消毒(手すり、扉等の手の触れる箇所等)
 - ・衛生面にて、入浴は一人ひとり掃除、お湯入替
 - ・空気清浄機、加湿器完備 (共有フロア)
 - ・年6回以上の行事

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームの周囲は静かでゆったりとした住宅街に位置し、また、田園風景も広がり豊かな自然に包まれています。町内会に加入し、案内される花見や敬老会等への参加、近隣の保育園の園児との交流や実習生・ボランティアの受入れのほか、夕涼み会等のホームの行事にも地域の方々に参加して頂くなど地域との交流は活発である。母体医療機関との連携を密に図り、看護師による訪問も毎日あり、特に利用者の健康管理と安全確保に重点を置いて、日常のケアの充実に管理者と職員が一体となって取り組んでいる。

○管理者や主任は職員と日常的に話しやすい雰囲気作りに努め密にコミュニケーションを図っている。職員同士の連携も良好であり、ご家族や利用者の思いの把握に努め、毎月のミーティングでもケアに関する意見交換は活発で、これらを検討して業務やサービス内容の改善に具体的に繋がっている。

○利用者のご家族とは来所時や運営推進会議、家族会の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂くと共に、ご家族との個別の対話も年2回実施して丁寧に思いの把握に努め、全職員が共有してサービスの質向上に反映させている。

○運営推進会議は家族や地域住民、民生委員、市役所・包括支援センターの職員等関係者が多数参加して定期的に開催されている。ホームの現況報告や行事・課題等について活発な意見交換が行われ、特に避難訓練や夕涼み会等の行事に合わせて実施の際には感想や提案もお聞きしながら業務改善や日々のサービス向上に具体的に役立っている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を朝礼で唱和し確認 ユニットにも理念掲げ、日々実践に努めている	ホームの理念に加え、職員個々も年間の自己目標を設定して、利用者が地域と関わりながら、明るい笑顔でその人らしく暮らせるように日々のケアに取り組んでいる。理念は掲示して朝礼での唱和により共有を図り、意義の理解を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の花見、敬老会の行事等に参加 行事の一環としても近隣地域との交流に努めている	町内会に加入し、案内される花見や敬老会のほか、地域住民の協力も得てミカン狩り等に参加して積極的に交流を図っている。また、近隣の保育園の園児との交流や実習生・ボランティアの受入れのほか、夕涼み会等のホームの行事にも地域の方々に参加して頂いている。日常的に散歩や買い物・回覧版連絡の際に、近隣の人々と挨拶や話しを交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	四季便り等にて、行事案内などを回覧板にてお知らせし気軽に参加して頂けるように心がけている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	公民館長、民生委員、地域包括支援センター、家族代表に行事に参加していただき情報開示現状を説明し意見等をもらっている。改善点等のコメントがあれば次回に活かせるように努めている	会議はホームの避難訓練や夕涼み会等の行事開催にも合わせて、家族や民生委員、地域住民、行政や地域包括センターの職員等関係者が参加して、出席者が希望する内容で毎回テーマを設定して定期的に開催されている。ホームの現況報告や行事・問題点等について意見交換が行われ、感染症対策や交通安全対策の向上や食事改善など、具体的にホームの運営やサービス向上に反映されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃から疑問、相談等、連絡をしアドバイスを受けている	介護相談員の受け入れを行い、頻繁に市担当窓口や包括支援センターなどへ事務手続きやその他の機会に訪問し問題や事故、認定手続きなどの情報交換を行い、適切に助言・対応を頂くなど、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。また、市が主催する研修会等にも積極的に参加して意見や情報の交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアル等の確認を行いながら情報共有、意見交換を行っている 玄関施錠は、昼間は常に開放 夜間はスタッフが少人数になり安全と外部からの危険防止のため施錠を行っている	玄関や居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を、職員の見守り方法を工夫する努力で実現している。職員は常に利用者の状態や行動を把握し、外出時は職員が付き添うようにしている。日常のケア時をはじめ、身体拘束廃止委員会等を通じて、特に抑圧感を招くような言葉遣いの防止に取り組んでいる。また、近所の方々とは日頃の散歩中の挨拶や会話により、見守りや声かけをしてもらえるような関係が築かれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料等により知識を得ながら常時スタッフ間で話し合い検討している。虐待等が見過ごされることがないように十分に注意を払っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいない 研修会資料等配布にて再確認は行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入退居時に契約書に伴い例え、補足を付加えながら説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者、家族から希望等申送りノート、会議、行事カンファレンス等を通じて常に検討している	利用者には、日常頻繁に声掛けして思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とは来所時や家族会、ホームの行事や運営推進会議の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。意見や苦情については職員が共有し、検討が行われ、速やかに対応・報告し、ホームからご家族宛の毎月のお便りでも連絡している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回のユニット会議及び、理事長同席の全体会議にて意見、提案等を挙げ議論している	職員からの意見は朝礼や毎月のユニット会議、理事長も出席する全体会議で聞き取ると共に、年2回は個人面談を実施して把握に努めている。日常的に話しやすい雰囲気作りに取り組み、意見や提案は業務や就業環境の改善、利用者へのサービス向上の実現に具体的に反映され、その効果についてもきちんと評価している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	適材適所を考え、個人の評価、意見を聞きながら行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外研修の日程を前もって通達、掲示し出席を促している 法人内にて勉強会も行い質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流、勉強会研修会などを通して行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	会話の機会を多く持ち安心して生活できるような関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に会話の機会を持ちスタッフから声をかけ質問を行いながら気軽に相談できるような関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族が優先的に今どのような支援が必要か話し合い希望に沿えるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる事、できない事をスタッフ間で共有し、掃除食事（食材下ごしらえ、洗物等）関係等一緒に行い生活の関係性に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の便りで状態、様子、受診報告。面会時には声をかけて相談等を行なっている また特変時は、その都度電話連絡で説明を行なっている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出泊は自由なので、面会時等、お茶等を提供し好きな場所で過ごしてもらえるように努めている	利用者の家族や知人などの来所時には、ゆったりと過ごせるように支援することをはじめ、電話や手紙の取り次ぎも行っている。本人が希望する自宅や思い出の場所へのドライブへの同行、ご家族にもお願いして墓参りや馴染みの美容院、外食など、楽しんで頂けるように可能な支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り共通する話題の会話、レクリエーション等、コミュニケーションがとりやすい環境作りに努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、家族の希望に応じて継続的に、相談支援に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時、本人、家族から希望、要望を聞いている 困難時は、随時もしくは定期的にカンファレンスを行い、できるだけ本人の意向に沿えるように努めている	利用開始時の利用者本人や家族からの聞き取り情報や、日々の関わりを通して言葉や表情などから、利用者の思いや意向を可能な限り把握するように努めている。朝礼やミーティングで共有を図り、必要な対応を家族も交えながら検討し最良の支援に結びつくように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、前生活のサマリー等で職員は共有し、後は本人家族からの情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、基本午前と午後のバイタルチェックや声かけで表情確認等で現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活のケアより課題を見出し本人、家族希望・意見を伺い、確認している 随時もしくは定期的に、カンファレンスを行いプランに取り入れている	本人・家族から希望や意向を聞き、主治医や看護師・職員からの意見を反映した詳細な介護計画を作成している。ケアの経過は看護日誌や日常生活記録等で共有して日々の利用者の状況を確認し、また、3ヶ月ごとにモニタリングも行い、必要な変更内容を評価し、適切に見直し・修正している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別健康状態、ケアプランに添った記録に努めている。介護、看護記録にて情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて判断し可能な限り対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散髪は地域出張を利用し地域敬老会、外食等を行い地域との関わりを大切にし楽しみが持てるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の希望通りに行っている	母体病院をかかりつけ医としている利用者が多く、定期的に往診を受けられ、看護師の訪問も毎日あり、日々を安心して過ごすことにつながっている。通院も含めて受診状況や必要な対応は職員をはじめとする関係者で情報の共有が図られ、ご家族への連絡も適切に行っている。また、母体病院とは24時間医療連携体制が築かれ、緊急時も適切な医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、母体病院より医療連携体制にて正看護師訪問し健康管理を行っている 看護記録を中心に、情報共有を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供書を作成 また、面会時、退院後も情報交換を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期の段階で本人と家族の意向を話し合い、できるだけ希望に沿えるように主治医と相談しながら取り組んでいる	重度化や看取りに対する対応指針を定め、家族に説明し同意をもらっている。また、日々の生活の中で入院や医療の必要性が生じた時などに再度確認するなど、状況に応じて繰り返し説明している。本人やご家族が看取りを希望された時はいつでも対応できるよう職員に対して医師によるメンタルケアも行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルにて常時シュミレーション、マニュアル確認を行い状況に応じて母体病院院長に指示指導を受けている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛避難訓練を昼夜問わない想定で繰り返しながら確認災害時に備えている 年1回の消防立会の訓練も行いアドバイス等受けている	年2回のうち1回は消防署と連携して避難・通報・消火訓練及び勉強会を実施している。災害マニュアルも整備して自主訓練も年4回行うなど災害に関する意識は高い。また、スプリンクラーや自動通報装置・AED等の設置や食料・水の備蓄にも十分に配慮され、公民館長をはじめとした地域の人々の協力が得られるよう体制整備もなされている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使い、態度に気をつけ利用者個人々に合わせた声かけを心がけている	利用者の人格を尊重し、日常のケアに際して尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応を行わないように、ミーティング等を通じて方法を共有して実践に取り組んでいる。。接遇や個人情報保護に関する研修も実施されると共にマニュアルも整備され、各種の個人記録や居室の保護にも配慮が感じられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常些細な事でも、本人の希望を尊重し自己決定ができるような声かけに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時には業務を優先しないといけない状況もあるが、できるだけ本人の希望に沿えるように心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	また希望に合わせて理美容室に外出、もしくは出張サービスを利用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好、状態を把握し、嫌い（苦手）な物は代替提供、刻み、ほぐし等で食べやすいように工夫している 食材の下ごしらえ等できることはスタッフと一緒にやっている	利用者の嗜好や機能にも配慮しながら、野菜の下ごしらえ・配膳・下膳・後片づけなど、できることは手伝ってもらい、会話しながら和やかに食事できるように工夫している。季節の行事食や誕生会のケーキ・おやつ、ウッドデッキでのお茶や食事会、外食などは利用者の希望も取り入れ楽しみにつなげる工夫も行っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士よりカロリー計算された献立で個人の食事摂取量チェック表を活用し把握に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアのできる方は声かけ、できない方は介助を毎食後行い、必要な利用者はスポンジブラシも使用している 夕食後は入れ歯洗浄剤にて清潔を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの残存機能を確認、把握を行い排泄チェック表を活用しながら定期的に声かけ、介助をを行っている できるだけトイレでの排泄リズムの支援を行なっている	利用者の見守りや排泄チェック表を上手に活用して、利用者それぞれの排泄パターンを把握できるように努め、適切に声かけや誘導を行い可能な限りトイレで排泄できるように支援している。様々な工夫はケアプランにも反映して排泄用品の選択等、利用者個々の習慣や身体機能に合わせた対応になるように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、水分補給、腹部マッサージ等行っている 状態により主治医に相談し内服処方もしくは調整にて対応している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	できるだけ、希望に沿えるように取り組んでいる 曜日、時間変更等の希望がある場合はできるだけ希望に沿えるように努めている 状態に応じて清拭等も行う	利用者の健康状態や体調を観察すると共に安全面に十分配慮して、本人の好みや習慣に沿って入浴剤の活用やゆっくりと対話するなど、入浴が楽しめるように支援を行っている。利用者の状態に応じて清拭や足浴などへ切り替えている。現在は入浴を拒否される利用者はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠れない利用者は寄添い、傾聴し安心して眠れるように努めている。または主治医に相談し内服等にて対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬説明書を個人々ファイルに添付し、いつでも確認できるようにしてあり把握に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活意欲向上に繋がるように、できることはお願いしている。季節を感じてもらえるような行事計画に努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出泊は基本自由である 正月、お盆等は本人希望、家族と相談し支援している	利用者の希望は日常会話を通じて把握に努め、時には地域の方々の協力も仰いで、季節の花見や初詣、地域の行事、みかん狩り、ウッド・デッキでのお茶や食事会、外食など季節に合わせた外出を楽しんで頂いている。また、ご家族との墓参りや外泊も適切に支援している。日常的には、散歩・買物・ドライブ・日光浴等に出かけている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用者が金銭管理ができないため家族の了解を得て、預かり金として事務所金庫にて預かっている 病院受診等の外出に希望あれば買い物支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の代筆（読）、電話使用は自由で希望時に支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには室温時計にて空気清浄機、加湿器の調整を行い気持ちよく過ごせる様に心がけている 利用者の作品、季節の花々を飾り、居心地よく過ごせるような工夫に努めている	リビングは天井が高く、明るく解放感があり、温度や湿度・清潔にも十分に配慮されている。季節の花が飾られ、周囲の壁には行事の写真や利用者による作品などが掲示され居心地よく過ごせるように工夫されている。掘り炬燵やソファも配置され、周囲はウッドデッキで会話しながらお茶や食事を楽しめる。庭には多くの樹木や花も見られ季節を感じられるように配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	坪庭前に対面ソファを配置。利用者同士（家族）が談話等、ゆっくり過ごしてもらえるように努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	電化製品、家具など使い慣れた品物を持ち込んでもらっている	居室からは季節の花を眺めることができる。ホームが準備したエアコン・ベッド・洗面台の他に、本人や家族の希望に合わせて、使い慣れた家具やテレビ・写真などを自由に持ち込んで頂き、本人が自分の部屋として、その人らしく落ち着いて暮らせるように支援している。日常生活等についてのご家族からの希望にも、可能な限り柔軟に対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせ障害にならないように、スタッフ家族と相談検討し環境作りに努めている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を朝礼で唱和し確認 日々実践に努めている また各ユニットにも掲げ いつでも確認できる		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の花見、敬老会の行事等に参加 芝桜見学、みかん狩り等で近隣地域でも、交流に努めている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	四季便り、行事案内などを回覧板にてお知らせし気軽に参加、理解して頂けるように心がけている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	公民館長、民生委員、地域包括支援センター、家族代表に行事に参加していただき情報開示現状を説明し意見等をもらっている。改善点等のコメントがあれば次回に活かせるように努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃から疑問、相談等、連絡をしアドバイスを受けている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアル等の確認を行いながら情報共有、意見交換を行っている 玄関施錠は、昼間は常に開放 夜間はスタッフが少人数になり安全と外部からの危険防止のため施錠を行っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料等により知識を得ながら常時スタッフ間で話し合い検討している。虐待等が見過ごされることがないように十分に注意を払っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいない 研修会資料等配布にて再確認は行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入退居時に契約書に伴い例え、補足を付加えながら説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者、家族から希望、要望等時は、スタッフ周知随時検討している		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回のユニット会議及び、理事長同席の全体会議にて意見、提案等を挙げ議論している		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	適材適所を考え、個人の評価、意見を聞きながら行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外研修の日程を前もって通達、掲示し出席を促している 法人内にて勉強会も行い質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流、勉強会研修会などを通して行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	会話の機会を多く持ち少しでも早く環境に慣れてもらえるように会話やコミュニケーションを多くとり、安心して生活できるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に、スタッフから声をかけ会話の機会を多く持ち、気軽に相談できるような関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族の意向を聞き課題を見つけ、今どのような支援が必要か話し合い希望に沿えるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の自己決定を尊重し難しい内容については時間をかけて話し合い理解を深めてもらいながら、関係性が築けるように努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の便りで状態、様子、受診報告。面会時には声をかけて相談等を行なっている 本人の気持ちを代弁、家族の思いを汲み取り親子が意思を通わせることができ様に、努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出泊は自由なので、面会時等、お茶等を提供し好きな場所で過ごしてもらえるように努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないように声かけを多くレクリエーションの参加等を行い、同じ時間を過ごせるように努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、家族の希望に応じて継続的に、相談支援に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	事前、入居時、本人、家族から希望、要望を聞いている 困難時は、随時もしくは定期的にカンファレンスを行い、できるだけ本人の意向に沿えるように努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、前生活のサマリー等で職員は共有し、後は本人家族からの情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、基本午前と午後のバイタルチェックや声かけで表情確認等で現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活のケア（記録）より課題を見出し本人、家族希望・意見を伺い、確認している 随時もしくは定期的に、カンファレンスを行いプランに取り入れている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別健康状態、ケアプランに添った記録に努めている。介護、看護記録にて情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて判断し可能な限り対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散髪は地域出張を利用し地域敬老会、外食等を行い地域との関わりを大切にしながら楽しみが持てるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の希望通りに行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、母体病院より医療連携体制にて正看護師訪問し健康管理を行っている 看護記録を中心に、情報共有を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供書を作成 また、面会時、退院後も情報交換を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期の段階で本人と家族の意向を話し合い、できるだけ希望に沿えるように主治医と相談しながら取り組んでいる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルにて常時シュミレーション、マニュアル確認を行い状況に応じて母体病院院長に指示指導を受けている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛避難訓練を繰り返しながら災害時に備えている 年1回の消防立会の訓練も行いアドバイス等受けている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人に合わせた声かけ、言葉使い、態度に気を配っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常些細な事でも、本人の希望を尊重し自己決定ができるような声かけに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時には業務を優先しないといけない状況もあるが、できるだけ利用者個人々の希望に沿えるように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	また希望に合わせて理美容室に外出、もしくは出張サービスを利用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好、状態に応じて食べやすいように工夫している できることは手伝ってもらっている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量をチェック表を活用し、管理栄養士より計算された献立を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアのできる方は声かけ、できない方は介助を毎食後行っている 夕食後は入れ歯洗浄剤にて清潔を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの残存機能を確認、把握を行い排泄チェック表を活用しながら定期的に声かけ、介助をを行っている できるだけトイレでの排泄リズムの支援を行なっている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、水分補給、腹部マッサージ等行っている 状態により主治医に相談し内服にて調整している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	できるだけ、希望に沿えるように取り組んでいる 曜日、時間変更等の希望がある場合はできるだけ希望に沿えるように努めている 状態に応じて清拭等も行う		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠れない利用者は寄添い、傾聴し安心して眠れるように努めている。または主治医に相談し内服等にて対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬説明書を個人々ファイルに添付し、いつでも確認できる目的、用法、用量等、把握に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	したいこと、できることを見つけ、お願いしている 季節に応じ行事、ドライブ誕生日には利用者嗜好品にて祝い写真撮影も行なっている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出泊は基本自由である 正月、お盆等は本人希望、家族と相談し支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用者が金銭管理ができないため家族の了解を得て、預かり金として事務所金庫にて預かっている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の代筆（読）、電話使用は自由で希望時に支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには室温時計にて空気清浄機、加湿器の調整を行い気持ちよく過ごせる様に心がけている 利用者の作品、季節の花々を飾り、居心地よく過ごせるような工夫に努めている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファを設置し思い々に利用してもらいリラックスしてもらえそうな空間作りに努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	電化製品、家具など使い慣れた品物を持ち込んでもらっている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個人に合わせトイレ居室に案内表示等を設け、自立した生活が送れるように努めている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない